

---

# G E C

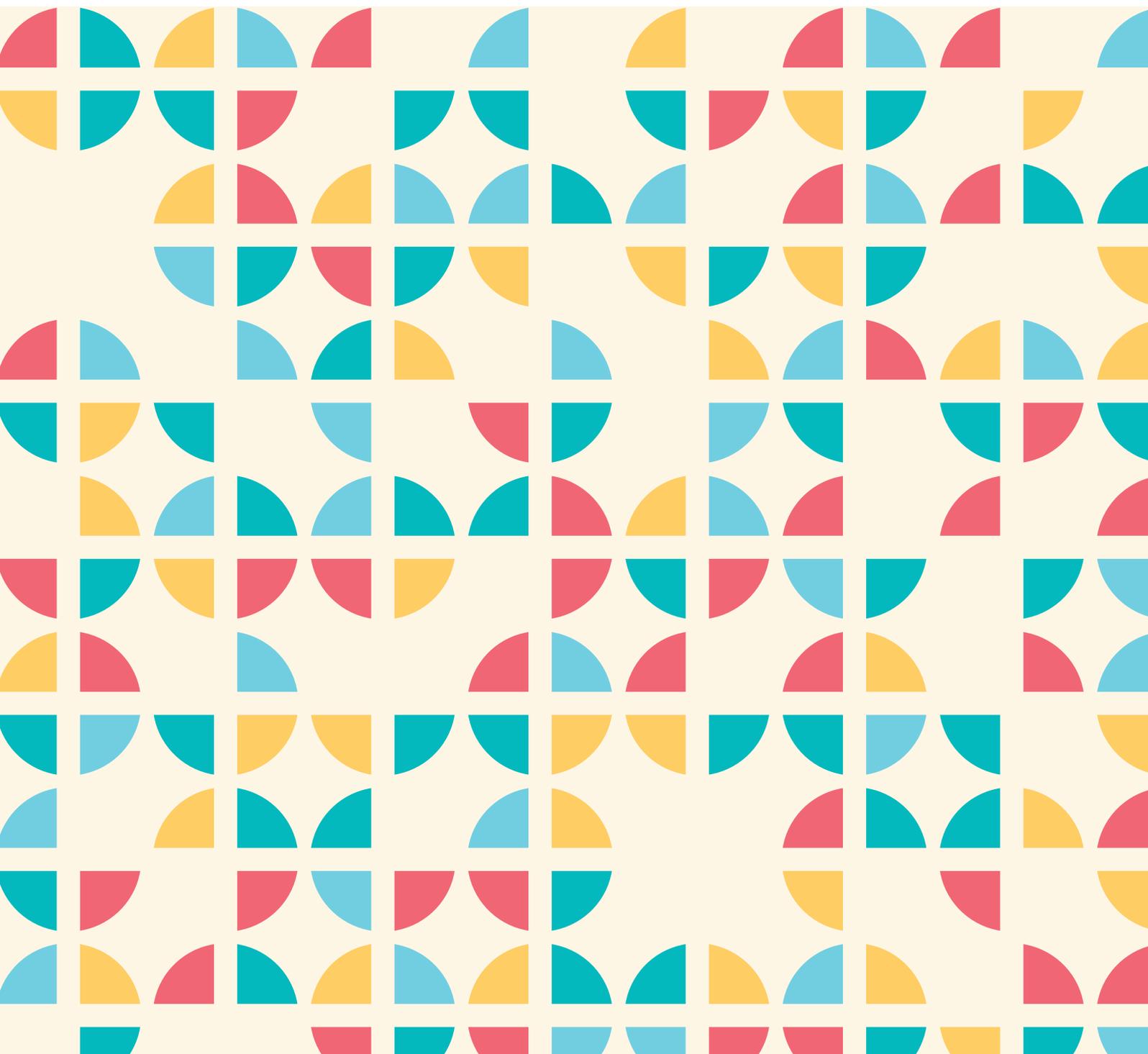
Global Education Center

Program Guide

---

## グローバル・エデュケーション・センター

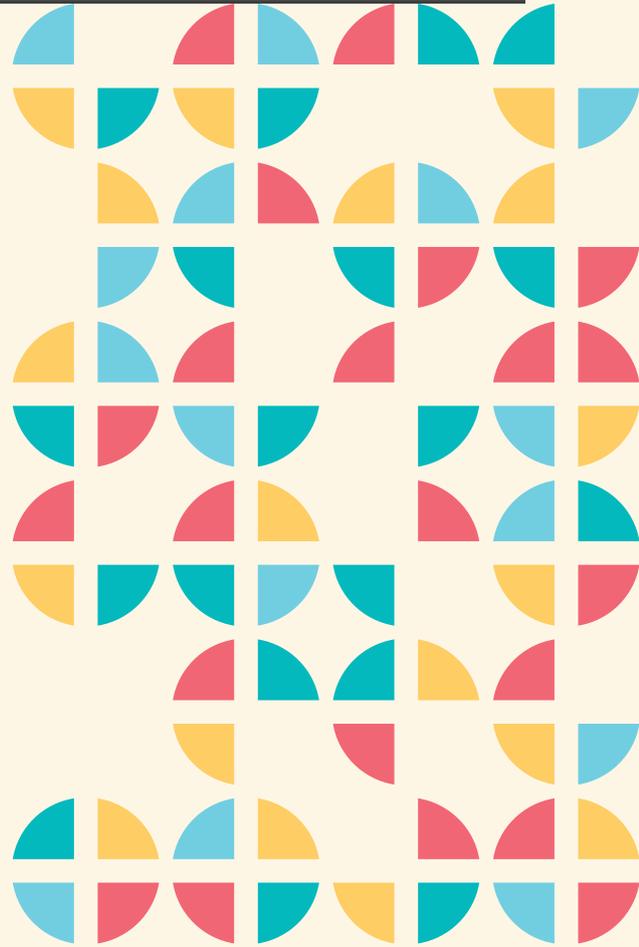
学びに、キャリアに、自分らしさをプラスする。



# ＋その選択が学びを深め、 キャリアを広げる。

## 学部にはない“学び”で、第二の強みを作る グローバル・エデュケーション・センター(GEC)

GECが提供するもの。それは学部の講義にはない学び。  
学部での学びと並行しながら、自分に足りない知識、  
伸ばしたいスキル・感性を育むことで、自分だけの「第二の強み」を作ることができます。  
GECで学ぶこと、それはつまり、あなたの学びとキャリアに「自分らしさ」を加えること。  
「基盤教育」「リベラルアーツ」「言語教育」「人間の力量育成」という4つの教育プログラムから  
あなたの目標や目的に合わせて、自由に科目を選んで履修できます。  
GECを通して、あなたの学びとキャリア、  
そして人生へとつながる一歩を踏み出しましょう。



### MESSAGE

## 人間力・洞察力にあふれた 地球市民をめざして

グローバル・エデュケーション・センター所長  
後藤 正幸



グローバル・エデュケーション・センター(Global Education Center: GEC)は、2013年の設置以来、早稲田大学の教育理念である「世界のいかなる場所においても、グローバルな視点で課題解決に貢献できる人間力・洞察力にあふれたリーダー育成」を体現するために必要な知識、知的スキルおよび感性を習得する機会を、早稲田大学の全ての学生に提供することを目的としています。本学が目指すリーダー像は、国際機関、グローバル企業等において世界を股にかけて活躍する人材だけでなく、国内外各地の歴史や文化を尊重し、地域社会の発展に貢献するような人物も意味しています。いわば、国際的でグローバルな視点と地域のローカルな視点を備え、多様な分野で責任ある行動をする人物を意味します。

こうした理念・目的を実現するため、GECでは4つに大別される教育プログラムを提供しています。その第1番目は、基盤教育です。基盤教育とは、「学問を学ぶため、また社会に出てからも必須となる基礎的な知的スキル」を意味し、

具体的には「アカデミック・ライティング」「数学」「データ科学」「情報」「英語」の科目群から構成されます。これらの科目は、IT技術が発展し複雑化する社会において、物事を的確に判断するための基盤となる言語および数理に関する基礎的リテラシー習得を目指しています。

第2番目は言語教育です。英語が世界共通語として使用される現在においても、言語・文化の多様性を認めることは、グローバルな視野を養うために重要です。そうした発想からGECでは、英語以外に20を超える多彩な言語科目を提供しています。

第3番目は、リベラルアーツ教育です。本学ではリベラルアーツ教育を「物事の本質を見極める洞察力を育む教育」と考えています。歴史・文化等に関する幅広い知識・教養を身につけ、物事を空間的・時間的に相対化し俯瞰することで、物事の本質を見極められると考えます。具体的には、「全学副専攻」を設置し、所属する学部で主専攻を学びながら、その他の学問分野を学ぶことができます。また、心身の健康を保持・増進するため、スポーツ実技科目も提供しています。

そして、第4番目は人間の力量育成です。GECでは学内の関連箇所と連携して、「キャリア形成科目」「ボランティア科目」「リーダーシップ科目」等、理論だけでなく実践を通した学びを重視し、その過程において人間の力量の育成をめざしています。

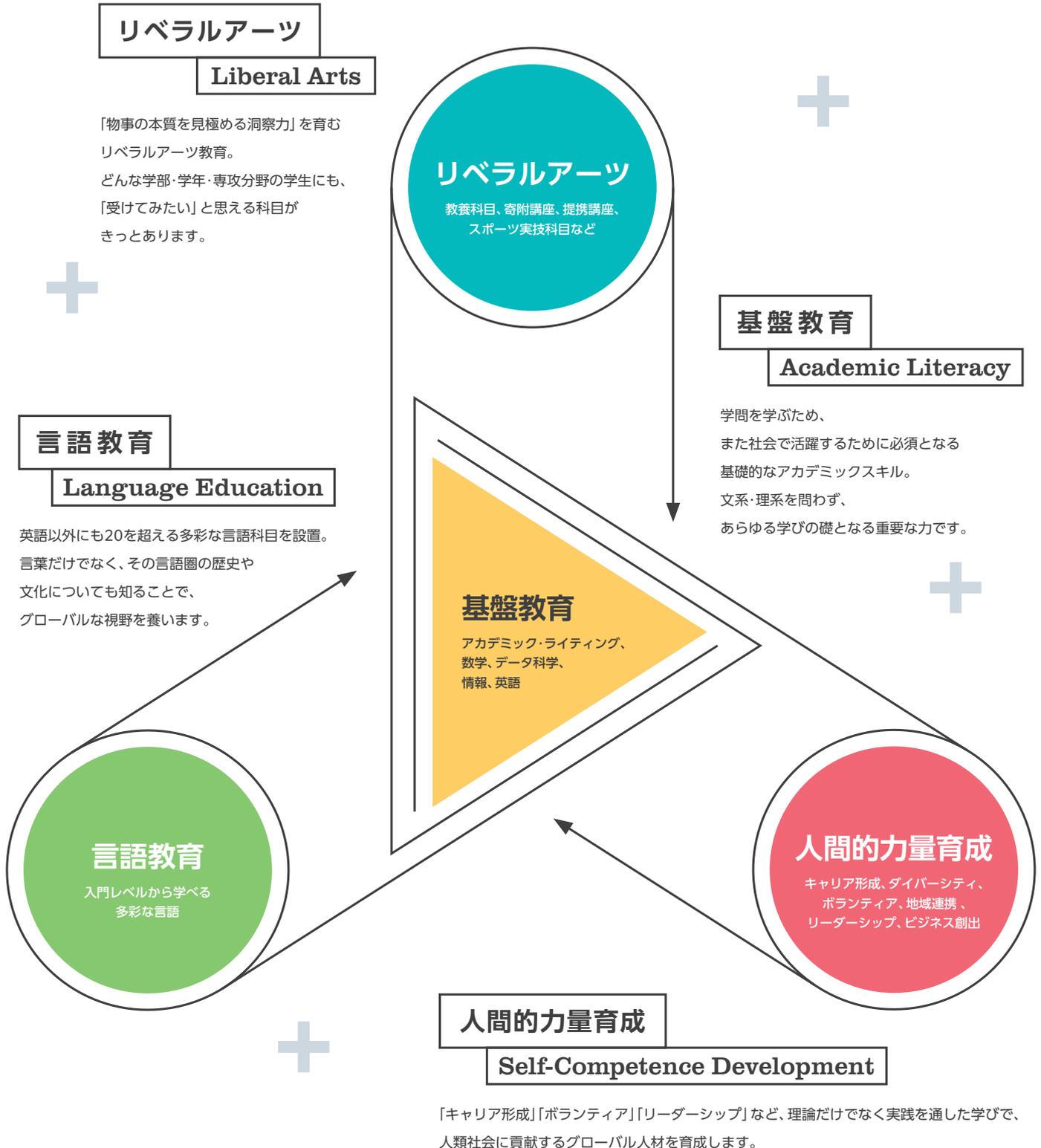
以上のようにGECでは、国内外の幅広く多様な分野で活躍しうる人材育成を目的として、様々な教育プログラムを提供しています。学生の皆さんには、所属する学部で専門的な知識やスキルの修得に励むとともに、GECの設置科目を大いに活用して、充実した大学生活を送って頂きたいと願っています。

## たくましい知性・しなやかな感性を育てる GECの教育プログラム

GECの学びのフィールドは多種多様。

自分の目的に合わせて自由に選び、学ぶことで、知識や経験を積み重ねながら、自分だけの「知」と未来を描くことができます。

GECが提供する科目は、すべて学部・学年を問わず履修できる全学オープン科目です。



## すべての学問と人生の土台を 身につける5つの学び

早稲田大学では、すべての学問に求められる必須スキルとして、  
「アカデミック・ライティング」「数学」「データ科学」  
「情報」「英語」を身につけることを推奨しています。  
文系・理系を問わず、あらゆる学びの礎となり、  
今後、社会に出てからも必ず役立つ力です。  
ぜひ早い段階でマスターしておきましょう。



### WASEDA式 アカデミックリテラシー

あらゆる学問の基礎となるアカデミックリテラシー。在学中に身につけた知識やスキルは、IT技術が発展し、複雑化する社会において、物事を的確に判断する際の基盤となります。

#### LITERACY 01

## アカデミック・ライティング

### 学術的文章の作成時に不可欠な ライティングスキルを身につける

オンデマンド科目「学術的文章の作成」では、学術的文章の慣習、語句の適切な使い方、わかりやすい構成の方法、引用と出典の明記の仕方など、論文やレポート作成に求められる技能を学びます。言葉の使い方を鍛えることによって、文章作成力を向上させると同時に思考そのものも鍛えることができます。ライティング・センターでは、レポートや論文作成の助言を行います。

#### 早稲田ならではのライティング指導

**01 「自立した書き手」を育てる**  
書き手自身が文章の問題や改善方法に気づき、  
独力で修正できるように、対話や作業を通して指導します。

**02 丁寧な個別指導**  
「学術的文章の作成」の授業でもライティング・センターでも、  
専門的な訓練を受けた文章指導者が一対一で対応します。

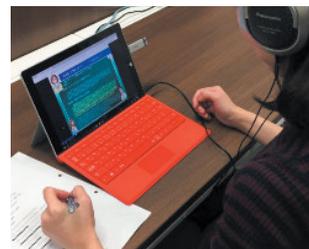
#### PICK UP

##### ■ 学術的文章の作成

学術的な文章を書くために身につけておくべき技能を学ぶための科目です。「学問をするために大学へ入学したが、学術的な文章とはどのようなものなのか、またどうしたら書け

るようになるのか」という疑問に答えられます。1年生のうちに履修することをお勧めしますが、レポートの作成で力をつけたい2年生以上も履修できます。「書く」という行為は

「考える」とことと一体です。文章を整えることによって、より広くより深く「考え」、学問を修める第一歩を踏み出しましょう。



LITERACY 02

# 数学

期待できる効果

## 文系理系に関係なく将来必須となる 数学の素養や論理的思考力を養う

身近なテーマを通して数学の基礎知識を身につけると同時に、数学的な論理的思考力を養います。金利などのテーマを、今まで数学を避けてきた人でも着実に理解できるよう、初級からステップアップしながら学べる科目のラインアップを用意しています。オンデマンドの授業に不明な点があれば、メールやBBSのほか、Math and Stat CenterでLA(Learning Assistant)による対面指導を受けることも可能です。

- 01 高等学校の数学知識を前提とせず、一から学ぶことができる。今までわからなかった数学がわかるようになる。
- 02 実社会で活用されている場面を題材にすることで、数学の有用性がわかるようになる。
- 03 単に計算をするだけでなく、数学の性質がなぜ成り立つのかを調べることで、定義から順序立てて論理的に思考する力が身につく。

PICK UP

### 数学基礎プラスシリーズα (金利編)

銀行にお金を預けるとき、また金融業者からお金を借りるときに、単利や複利などの基本的な金利計算を知らないと、損をしてしまうことがあります。本科目では、金利計算のうち比較的考察しやすい「単利」と「複利」に焦点を絞り、その計算のしくみとそれに必要な数学の基礎を講義します。

### 数学基礎プラスシリーズα (最適化編)

「限られた資源の中でいかに利益を最大にするか？」あるいは「どうしても発生する損失をいかに最小にするか？」といった問題は最適化問題といわれ、実社会でもよく現れます。この最適化問題のうち「線形計画問題」の「最大問題」に焦点を絞り、その解決法と必要な数学の基礎を講義します。

### 数学基礎プラスシリーズγ (線形代数学編)

線形代数学は経済学・経営学などでも重要なツールとされます。経済・経営などの現実社会における顧客獲得問題では、顧客獲得競争をしている複数社の顧客数が、時間とともにどのように推移していくかが焦点となります。本科目では、この顧客獲得問題を解けるようになることを目標とします。



LITERACY 03

# データ科学

カリキュラムマップ

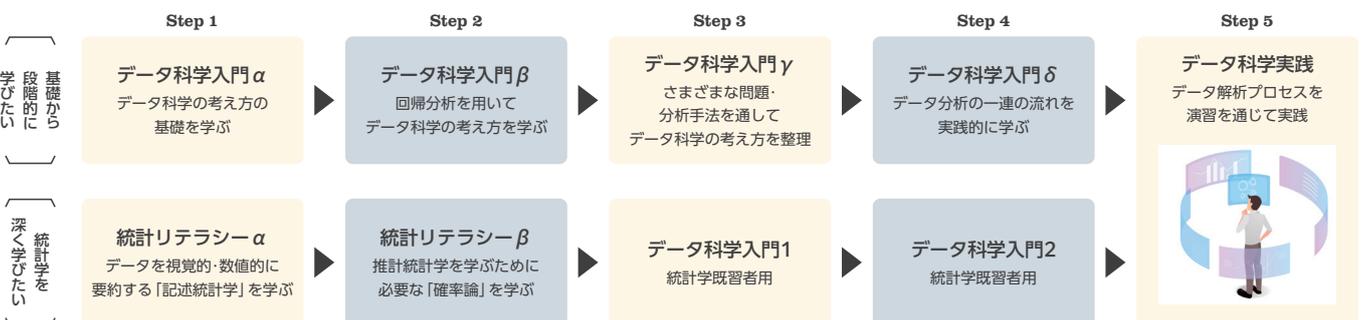
## データサイエンスの基礎から発展までを学び 専門領域におけるデータ活用を目指す

データを活用して意思決定や論証、知の創造を行う「データ科学」は、あらゆる学術領域および社会において重要になっています。そのような「データ科学」を、各自の興味や段階に合わせて体系的に学べるよう科目を用意しています。また、「データ科学認定制度」では、リテラシー級・初級・中級・上級の4つの到達目標を設定しています。

<b>A群(考え方を身につける)</b> データ科学の基礎的な考え方と その実践を一通り学ぶ科目群	<b>B群(知識をより深く)</b> データ科学をより深く学び活用するために 必要な数学やICT等に関する科目群
<b>C群(専門領域に活用)</b> 自身の持つ専門性や学術領域への接続科目群	<b>D群(エキスパートへ)</b> 自身の専門領域以外においてもデータ科学を 活用できるようになる科目群

履修モデル

※「データ科学認定制度」に関する詳細はP12をご覧ください。

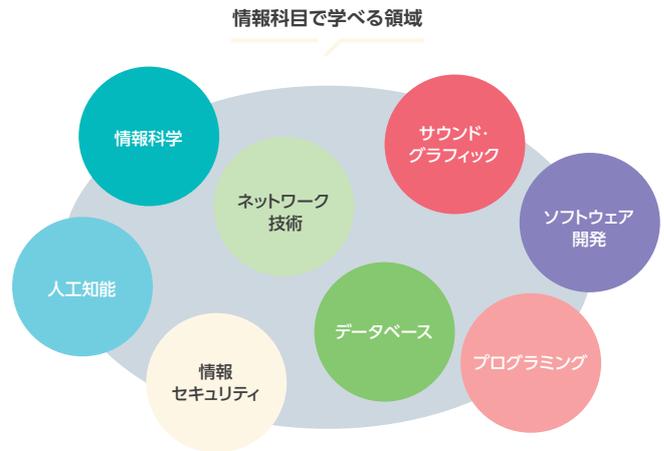


## LITERACY 04

### 情報

#### ICT基礎・ソフトウェア開発・Web制作、人工知能まで幅広い領域をカバーした学び

ビッグデータ時代、データサイエンス時代の今、ありとあらゆる業種において、ICT(情報通信技術)はなくてはならない存在となっています。そしてこれは、いわゆる理系の学生だけに必要とされるものではありません。GECでは、文系の学生でもそのようなICTの基礎をスムーズに学修できるように「情報科学の基礎」や「プログラミング入門」といった科目を用意しています。同時に、システムエンジニアやWebクリエイターになりたい等、目的に応じた応用力を養えるよう、分野・レベル別に科目を提供しています。



#### PICK UP

##### ■ 全学副専攻「ソフトウェア学」—— 積み上げ式カリキュラムで理工学部設置の専門科目も履修可能に

GECが提供する基礎・入門科目の多くはフルオンデマンド化されており、時間や場所を問わず、自分のペースで学修することができます。豊富な演習を取り入れた応用科目は対面科

目として提供されており、その場で教員に質問しながら実践力を鍛えることができます。GECが基幹理工学部と提携して提供する全学副専攻のひとつ、「ソフトウェア学」副専攻では、

これらのGEC提供科目を体系的に履修した次のステップとして、基幹理工学部や教育学部の提供する情報分野の専門科目を履修できる枠組みを用意しています。

※全学副専攻制度の詳細はP.11を参照



## LITERACY 05

### 英語

#### 聞く、話す、書く。目的や目標に合わせて英語力を徹底的に伸ばす少人数レッスン

GECでは、英語の技能を3つに分け、「話す(Speaking)」ことに焦点を当てた Tutorial English、「書く(Writing)」ことに焦点を当てた Academic Writing and Discussion in English、「読む・聴く(Comprehension)」ことに焦点を当てた Listening & Reading の3種類の科目を提供しています。また、それぞれの科目では、複数のレベルを設置しており、各自の習熟度や目標に併せて履修することができます。自身の目的やレベルにあった科目を履修することで、弱点を克服したり、得意な能力を伸ばすことができます。



#### PICK UP

##### ■ Tutorial English

Tutorial Englishでは、学生4名にチューター1名の少人数授業で、会話や議論の際によく使われるフレーズを身につけることができます。レッスングループは、履修前に受験するプレイスメントテストの結果をもとに各自の英語力に合わせて編成されます。

また、予習用のオンライン教材を活用することで、英語に自信がなくても、無理なくペアワークやグループワークに取り組みます。毎レッスン後には、チューターからの評価やコメントを確認することができ、モチベーションも高まります。継続してスピーキン

グ能力を向上させたい方は、ぜひ複数学期続けて履修してみてください。



Tutorial English Website





## + PICK UP

英語でライティングとディスカッションを学ぶ

# AWADE *Academic Writing and Discussion in English*

## 総合的な言語能力を向上させる“AWADE”

Academic Writing and Discussion in English (AWADE)は、学生のアカデミックイングリッシュスキルの向上を目的としたプログラムです。授業では小論文の基本的な型や構造、正しい引用の作法、学術的な英語表現を学生同士のディスカッションも交えながら習得していきます。AWADEはクォーター科目で、 $\alpha$ と $\beta$ の2科目が設置されており、基本的に $\alpha \rightarrow \beta$ の順に、両科目を履修することが奨励されています。

### プログラムの特徴

01

最大12名の  
少人数クラス

02

全てのライティング  
課題に対する  
フィードバック

03

授業中は  
英語のみ使用

### AWADE $\alpha$

1クォーター14回

一貫性のある文章を書く技術を  
身につける

- 英語のアカデミックライティングの基本構成
- 参照・引用・パラフーズ
- ディスカッション

### AWADE $\beta$

1クォーター14回

リサーチペーパーに挑戦

- 学術的な参考文献の選び方
- プレゼンテーション

### フィードバック例

講師からの添削を繰り返し受けることで、伝わりやすい論理構成や適切な引用方法、英語表現を身につけることができます。

The Importance of Free Education	Reviewer
A university education is one of the most important things in life. People can increase their career opportunities, improve their understanding of the world, and become better versions of themselves. Unfortunately, the high costs associated with post-secondary education have increased substantially over the last several decades, and poorer families are often unable to send their children to high quality universities. As a result, there is a gap, and this is hurting many societies around the world (Alton, 2020). To help deal with this issue, many scholars have begun to argue for free university education (e.g., Tabit, 2015; Zedler, 2019). Although some remain opposed to this idea, free university education should be instituted since it will lead to several benefits.	Reviewer This is good, but we could make it better by showing a clearer link to the previous sentence. For example, adding "With a strong education" will help show the link between ideas and guide the reader.
	Reviewer Great point! Can you find an outside source for this?*
	Reviewer What kind of gap has been created?*
	Reviewer Great job using an outside source!*
	Reviewer This is a good start, but remember to include the topic, controlling idea, and predictor in your thesis. The predictor seems to be missing.

### こんな方にオススメ

- 英語を短期間で上達させたい方
- 留学を検討している方
- 大学院に進学予定の方
- 英語で論理的にディスカッションができるようになりたい方

### 英語を“勉強科目”から“勉強手段”へ

## + VOICE

### AWADEを履修した学生の声

AWADEを通じて得たことは2つあります。1つ目は、アカデミックな英語表現を用いて文章を書く方法です。一つ一つの文章の構成や言葉選びに注意してライティング技術を学ぶことができ、授業を通じて英語で論文を書く能力が確実に培われます。2つ目は、英語での情報収集スキルです。授業では英語の論文や記事を参考文献とする機会が多く、英語を目的から手段として活用できる力が身につきました。私はAWADEのおかげで、留学に必要なスコアを得ることができました。



### 中尾 英聖

政治経済学部・経済学科 1年  
(2023年当時)

## 物事の本質を見極める 洞察力を育む

早稲田大学が提供するリベラルアーツは、総合大学ならではの多種多様な分野をカバーしているのが魅力です。学部や学年に関係なく、自分の将来の進路、興味や関心に合わせた教養を身につけましょう。



### SUBJECT 01

## 教養科目

### 教養教育はなぜ必要

### 多様化する社会を生き抜くための 人間の「核」となる知識や教養を学ぶ

歴史・文化・社会等に関する幅広い知識や教養を身につけることができる科目を多数提供しており、物事の本質を見極める力を身につけることができます。

近年、リベラルアーツ教育が注目されているのは、社会で求められる力が多様化してきたからでしょう。特定の専門分野でも、複数の学問知識や文系・理系の枠におさまらない幅広い教養が求められるようになってきています。リベラルアーツで学ぶ「教養」とは、物事の本質を見極める洞察力を育むために欠かせない力であり、同時に、人生を豊かにする原動力でもあるのです。

科目の領域 ●自然科学 ●人文・社会科学 ●日本語教育

### + PICK UP

#### 映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 1・2

##### ■ 映画・映像制作の手法や現場について学ぶ

映画・映像を通して、人間・社会・文化に関する様々な学問分野の専門的知識を体系的に理解し、文理横断的な観点から現代社会における重要な課題を総合的に把握、究明します。

社会保険労務士と学ぶ 働く前に知っておきたいワークルールと人事・労務コンサルティングα・β (早稲田大学校友会支援講座)

##### ■ 社労士から学ぶ社会のしくみ

社労士は経営資源とされる「ヒト・モノ・カネ・情報」のうち「ヒト」に関する企業活動をサポートする職業です。この科目は社労士に対する関心を深め、将来の職業の選択肢を増やすことを目標とします。

#### 生物と環境

##### ■ 生態系における物質の循環過程を知る

生態系における物質循環について基礎的な知識を身につけ、気候変動と炭素循環の関係についての理解を深めます。また、生態学における野外調査法や測定法を理解するとともに、生物とその周辺の環境との関係性を理解します。

#### ことばのリサーチ

##### ■ 「ことば」という現象を多面的に理解する

数量的な言語へのアプローチのひとつであるコーパス言語学の概要、言語学、自然言語処理の知見をリサーチに生かす方法を学び、ことばに関わる問題を発見し、自らデータを収集し、解決方法を提案します。

#### 未来社会を創るセキュリティ最前線

##### ■ 未来の社会に欠かせない情報セキュリティのトレンド

未来社会の姿である Society 5.0 などの推進において欠かせない情報セキュリティ。本科目では、情報セキュリティのビジネス現場で求められる知識とスキルを学ぶことを目的とし、現実のサイバー攻撃を行う者の思考を体験します。

#### 海への誘い

##### ■ 海を有効活用しながら環境保全の方策を考える

地球の表面の70%あまりを占める広大な海は、四方を海に囲まれている我が国にとって、必要不可欠な存在です。本科目では、海に関わる研究に精通した教員が海洋研究の魅力に迫ります。

### + VOICE

#### 教養科目を履修した 学生の声



#### 制作側との「対話」で得ることができた学び

映画や映像の制作に強い関心を持っていた私にとって、作品に込められた意図やその中で提起された社会問題などについて、制作陣の方々と直接意見交換ができる機会はとても貴重で魅力的だと感じ、履修しました。この科目では、映画監督含め様々な役職の方々をお招きし、教員と学生を含めた「対話」の形式で授業が進みます。映画の本質的な部分や現場の現状、映画の未来について考える時間はとても有意義で、毎回素晴らしい刺激と発見が得られました。

#### 渡辺るな

文化構想学部・文化構想学科 1年  
(2023年当時)

〈履修科目〉

映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 1・2

SUBJECT 02

## 寄附講座・提携講座

### 早稲田ならではのネットワークを活用した 実社会に直結する学び

企業や公的機関、NPOなどの寄附により運営される科目です。早稲田大学ならではの幅広い人脈を活用し、第一線で活躍する実業家や政治家・クリエイターなどがゲストスピーカーとして登壇します。実社会との接点を持ちながら各界の最新トピックに触れ、ダイナミックに知見を広げることができます。

#### + PICK UP

##### 寄附講座

株式会社日建設計寄附講座 建築・都市をつくるパブリックスペース

##### 提携講座

農山村体験実習/協同組合論/アセット・マネジメント(資産運用)の世界/ウーマン・キャリアクリエイト講座/コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門/囲碁入門講座/未来社会を創るセキュリティ最前線/金融DX(デジタルトランスフォーメーション)時代の情報リテラシーなど

##### 校友会支援講座

早稲田を知る/早稲田スポーツを学ぶ/司法書士と学ぶ家族・地域・企業をめぐる法律問題/社会保険労務士と学ぶ働く前に知っておきたいワークルールと人事・労務コンサルティング/行政書士による起業支援および企業法務実務概論/企業経営・コンサルティング実務概論/税理士実務概論/不動産鑑定士による不動産学/アナウンス入門講座など

SUBJECT 03

## スポーツ実技科目

### 実技科目で心身を鍛える 早稲田スポーツの真髄

早稲田スポーツを体感できる各種目から、心身を健やかに過ごすための健康スポーツまで、幅広い実技科目が開講されます。トップレベルの専門家が、初心者にもわかりやすく指導。学部や学年の枠を超えた学生同士の交流も盛んです。

#### + PICK UP

- ゴルフ ●サッカー ●ソフトテニス ●ソフトボール ●バスケットボール
- バドミントン ●バレーボール ●ハンドボール ●フットサル ●卓球 ●テニス
- 軟式野球 ●合気道 ●空手 ●弓道 ●剣道 ●柔道 ●フェンシング
- レスリング ●アジアのフィジカルエクササイズ(カラリパヤット) ●エアロビックダンス
- ストレッチング ●ダンス ●バレエ ●フィットネス ●複合スポーツ ●ピラティス
- ヨガ ●Bon Dance ●ウエイトトレーニング ●カパディ
- 健康のためのレクリエーション ●水泳 ●生活の中のウォーキング ●馬術 ●ヨット
- ラグビー ●ワンダーフォーゲル

## + 言語教育 - Language Education -

# 言語だけでなく文化・習慣・歴史まで 学べる科目群

国際化が加速する社会で、今後ますます求められるグローバルな視野。

言語圏の歴史や文化も学べる言語科目で、国際社会で活躍するために重要な資質を養います。

#### + PICK UP

##### ポルトガル語

##### ■ポルトガル語圏の魅力に触れ多文化共生の意義を学ぶ

ブラジルの公用語としてのポルトガル語と、ポルトガルで話されているイベリアポルトガル語の授業があり、日常の会話表現および動詞の活用に慣れながら、ポルトガル・スペイン・ブラジルの文化を比較します。さらに、外国人から見た日本の文化習慣に関するエッセイ、ニュース、民話を使用し、ポルトガル語の文献を読む力も同時に養っていきます。

##### インドネシア語

##### ■簡単な会話からはじめ文化・習慣を学んでみよう

インドネシア語の文字はラテン文字とローマ字で発音しやすく、文法では、単数形・複数形や時制変化などの語形変化がないので、学びやすい言語だと言えるでしょう。旅行で使う程度の簡単な会話からはじめ、より複雑な文章やイディオムも習得し、インドネシアの文化・習慣に触れていきます。

##### 言語科目

アイヌ語/アラビア語/イタリア語/インドネシア語/広東語/スワヒリ語/タイ語/中国語/朝鮮語/デンマーク語/ドイツ語/バスク語/フィリピン語/フランス語/ベトナム語/ペルシア語/ポーランド語/ポルトガル語/マレー語/モンゴル語など

## 知性と感性を鍛え抜く 実践的な教育プログラム

答えのない問題に挑戦する「たくましい知性」と、  
世界中の様々な人々の価値観や考え方を理解できる  
「しなやかな感性」を育成する人間的力教育。  
理論と実践を通じた学びで、グローバル人材を育成します。



### CATEGORY 01

## キャリア形成

理論と実践の両輪で進路選択の幅、  
可能性を広げる

学部での専門的な学習、キャリア形成に関連する学習による社会での体験を結びつけることにより、「理論と実践の好循環を志向したキャリア形成」を目指すプログラムです。理論と実践の両面から、広く、多面的に、客観的に自分の将来や進路選択について考察を深めてください。

### + PICK UP

自分だけの表現力を身につける

#### ■ アナウンス入門講座(早稲田大学校友会支援講座)

アナウンサーを目指す人だけでなく、  
社会で有用な仕事をしていくために  
必要な「自分なりのプレゼンテーショ  
ンスキル」を身につけることを目指し  
ます。



科目例

- アナウンス入門講座
- キャリアデザイン学

### CATEGORY 02

## ダイバーシティ

多様な価値観・文化的背景を持つ人々と  
共生する上で必要な感性を身につける

WASEDAらしさの根底にあるもの、それは「多様性」。自由を重んじる風土のなか、性別、障がい、性的指向、性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢などに関わらず、誰もが多様性を織りなす一人として個性や能力を存分に発揮できるよう、ダイバーシティ関連科目の授業を通して 知識を広げ、理解を深めてください。

### + PICK UP

ダイバーシティの可能性と課題、推進策を考える

#### ■ ダイバーシティを学ぶ

ダイバーシティの目的や課題、可能性に  
ついて、様々な視点から考察し、グロー  
バル社会で一層必要となる差別などの  
社会問題を解決するための社会形成へ  
の意識を高めます。



科目例

- LGBTをめぐる法と社会
- ジェンダーを考える
- 手話言語学
- 手話の社会言語学

### CATEGORY 03

## ボランティア

講義で学んだ知識を実践で  
より深める実践型教育

ボランティアのあり方や途上国の開発問題など幅広いテーマに触れることができます。さまざまな人と関わり合いながら思考を積み上げることで、新たな気づきをもたらしてくれるはずです。

### + PICK UP

早稲田大学でボランティアマインドを育てる

#### ■ ボランティア論

ボランティア活動を知り、実践するた  
めの入門編。ボランティアについて「支  
援する側」「支援される側」から考え、自  
分にとっての「ボランティア体験の意味」  
を言葉にしてください。



科目例

- 体験の言語化—世界と自分
- 体験の言語化—ボランティア体験から
- ボランティアから見る世界
- グローバル社会貢献論
- 狩猟と獣害対策論

CATEGORY 04

## 地域連携

### 地域の課題発見や分析の視点を学び 地域社会に貢献できるスキルを育む

地域連携をテーマに地域とのかかわり方・課題発見・分析方法などを学び、地域連携に必要なスキルを養成するコースです。グローバル化の時代にあっても、東京一極集中と地方の人口減少、高齢化によって、地域の課題はさらに増えていきます。ぜひ積極的に地域連携に取り組んでください。

+ PICK UP

#### 地域社会や地域経済をめぐる共通的な課題の理解

■ 地域連携学

地域の課題を解決するために、なぜ地域連携が必要なのか、地域連携にはどのような種類があるのか、などについて学ぶことで、地域のもつ課題を理解し、その解決方法についてのアプローチを考えます。



科目例 ● 地域連携学 ● 地域貢献論 ● 地域連携ケーススタディ

CATEGORY 05

## リーダーシップ

### 権限に拠らない、自分らしい、 新しいリーダーシップを発見する

リーダーシップはリーダーだけが有するものではなく、個人の考え方や他者との関係からも生まれるものです。自らのリーダーシップを鍛えるだけでなく、他者のリーダーシップを引き出し、組織をよりよくするためのスキルを習得しましょう。

#### リーダーシップを構成する3要素

01

#### 率先垂範

自らが率先して  
チームに貢献し、  
模範になる

02

#### 目標共有

目指すべきゴールを  
共有し、他のメンバーを  
巻き込む

03

#### 相互支援

メンバーの  
リーダーシップを  
引き出す

科目例 ● リーダーシップ開発:理論とスキル ● リーダーシップ開発:問題解決プロジェクト  
● リーダーシップ開発:授業外への適用

CATEGORY 06

## ビジネス創出

### イノベーションを起こすことのできる 人材を育成する

消費者の課題を解決するサービスをアイデアからカタチにするプロセスは、ソーシャルイノベーションにもつながります。また、ここで得ることができる新規事業化の知識や実践型教育の経験は、起業のみならず、就職後や研究者を志向する学生にとっても有用となります。

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4

新規ビジネスの  
創造に向け、  
起業家精神を  
学びます。

実践的な  
アイデアを  
創出する方法を  
学習します。

短期間で  
ビジネスモデルを  
0から立ち上げる  
能力を鍛えます。

実践的に  
新規ビジネス  
創造を  
目指します。

科目例 ● ビジネスモデル仮説検証  
● データビジネスクリエーション  $\alpha \cdot \beta$  ● デザインシンキング  
● イノベーション概論  $\alpha$ : 次世代イノベーターのためのエッセンシャルズ

+ VOICE

### リーダーシップ科目を 履修した学生の声



#### ここでしか得られない学びと仲間のおかげで成長できた

この授業を通じて、私は自分自身の成長を感じました。今までは苦手なことも全部一人でやらなければならないと思っていましたが、自分の得意分野を活かしてお互いに助け合い、チームとして成果を上げることが、リーダーシップの発揮に繋がるのだということに気づきました。この授業は、履修者同士の関わりが濃く、刺激を与え、お互いに高め合うことができます。ここで得た学びは、サークルや友人関係にも発揮できており、一生ものの学びを得たと思っています。

#### 仁科 咲希

文化構想学部・文化構想学科 2年  
(2023年当時)

〈履修科目〉

リーダーシップ開発:理論とスキル  
リーダーシップ開発:問題解決プロジェクト  
他者のリーダーシップ開発 1 (OD 1)  
他者のリーダーシップ開発 2 (OD 2)

# 全学副専攻

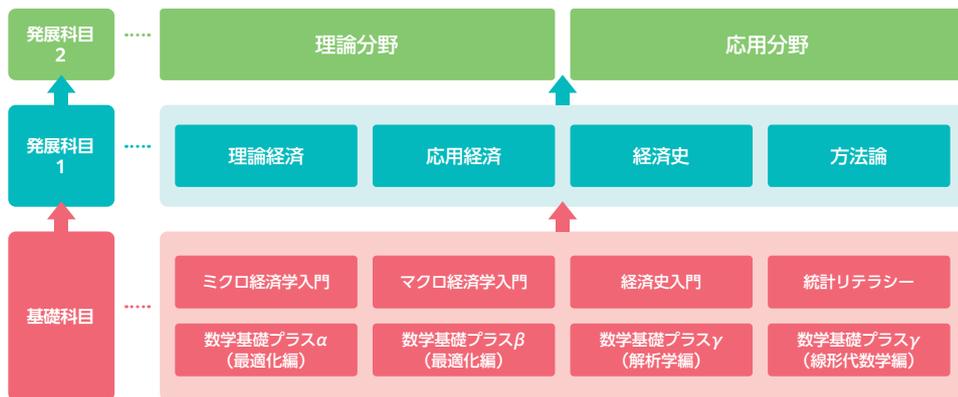
## 好きを極める、好きを広げる。副専攻で、第二の強みを獲得する

学部生であれば学部や学年を問わず誰でもチャレンジすることのできる全学副専攻の制度を利用することで、①主専攻の補強、②主専攻以外の第二の強みの獲得、③主専攻を応用・活用する領域の獲得などが可能となります。修了者には証明書が発行されるため、対外的・社会的にも自分の取り組みを証明することが出来ます。また、他学部の学生と相互に刺激し合うことで広い視野の獲得や人的ネットワークの形成にも役立ちます。



### + 副専攻 カリキュラム例

#### ■ 「経済学」副専攻



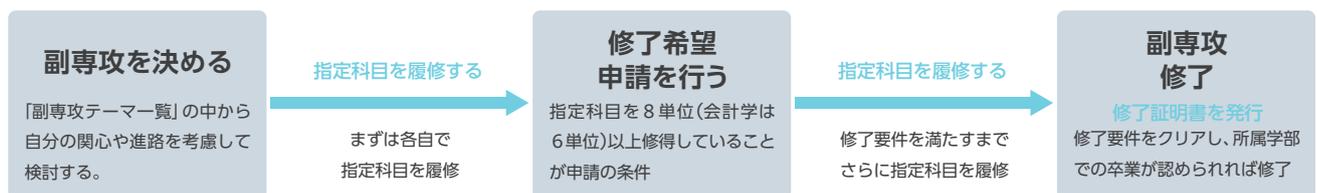
主に政治経済学部設置科目で構成された「経済学」副専攻では、経済現象を多面的に理解するための基礎知識の獲得からスタートし、その次には、理論経済、応用経済、経済史、方法論といった現在の経済現象の個別的な学問的知見を網羅する発展科目に取り組むカリキュラムが組まれています。

全学副専攻  
テーマ一覧



### + 修了までの流れ

※全学副専攻指定科目の卒業単位数への算入は所属学部を確認してください。※卒業単位数に算入されない場合でも、副専攻の修了要件として取り扱われます。



### + VOICE

#### 全学副専攻に取り組む 学生の声



#### 指定科目の履修を通じて、言語学の諸分野を概観できた

「興味はあるものの何から手を付けたら良いかわからない」、全学副専攻はそのような人にぴったりの制度です。私は言語の仕組みに興味がありましたが、理工学部の教養科目には言語学に関連するものが少なく、独学も困難だと感じていました。副専攻では、単語から文が構成される仕組みや、文の意味が解釈される流れを学び、そこで得たものが自分の専攻の講義で役立つこともありました。副専攻のおかげで、言語学に興味を持つだけでなく、体系的な知識をつけることができたと感じています。

#### 戸田 宇亮

基幹理工学部・情報理工科 4年  
(2023年当時)

〈テーマ〉  
ことばの科学

# 実践型教育プログラム

## 学んだ知識を実践の視点から捉え直し新たな「知」を発見する

早稲田大学には正規科目以外の教育プログラムも多数あり、実践型教育プログラムでは、そのような課外活動と正規科目を教育目的・計画の基に組み合わせ、経験・体験を中心とした体系的なプログラムを展開しています。特色ある学びの機会を積極的に活用し、それまで培ってきた知識を実践してみることで、新たな知識の発見を目指してください。実践型教育プログラムでは、修了要件を満たすと、修了証明書の発行が可能となります。

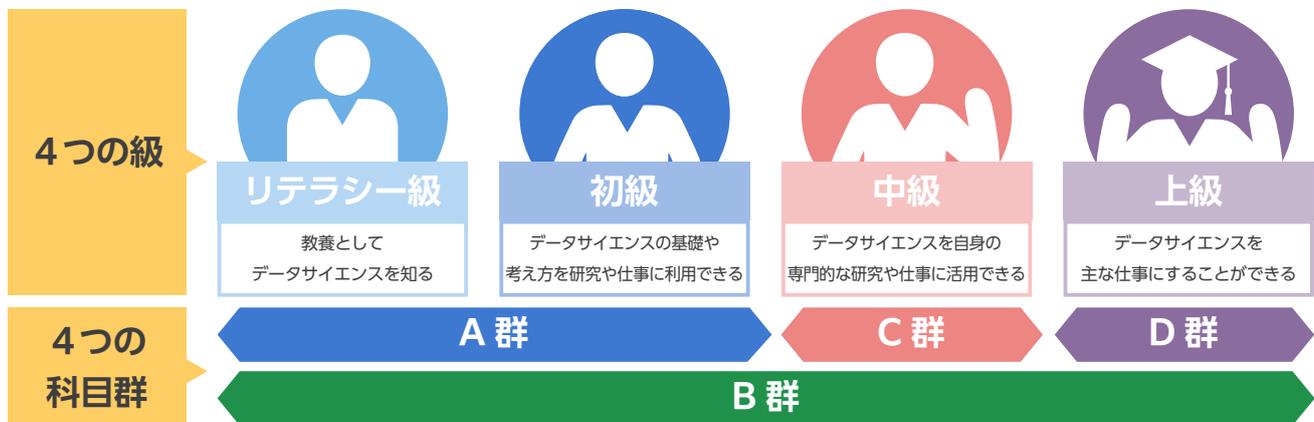
### + 修了までの流れ



# データ科学認定制度

## 学修効果を最大化する、データ科学の学びの道しるべ

データ科学認定制度は、履修者のデータ科学に関する能力を保証する早稲田大学オリジナルの認定制度です。データ科学を基礎から発展まで段階的に学習するために4つの科目群を用意し、到達目標を明示するためにリテラシー級から上級までの4つの級を設置しています。これにより履修者は自身のレベルや興味・関心に応じてデータ科学を学ぶことができます。



### + 修了までの流れ



※各級が定める認定要件や指定科目の詳細については“データ科学認定制度の詳細”を参照ください。

データ科学 認定制度の詳細		認定希望 申請フォーム		デジタル パンフレット	
------------------	--	----------------	--	----------------	--

専門分野の深い理解につながる  
主専攻以外の知識が、



安藤さんのストーリー

教育学部  
数学科

+

GEC 科目  
言語学  
データ科学  
など

“幅広い分野の知識を”  
数学教育学の  
研究に活かしたい

## INTERVIEW

### GECでの多彩な学びは様々な面で役に立ち、 研究活動における基盤となっています

教育学部数学科では、主に数学教育学を学んでいます。数学は社会においてどのような立ち位置にあるのか、そもそも数学を学ぶとはどういうことか、といった根源的な部分にまで遡って研究しています。

私は自分の研究内容に関わらず、様々なことに興味があるため、GECで提供されている複数の科目を履修しました。数学科目やデータ科学科目、言語学(語用論、形態論)、教育学に関する科目などです。なかでも「大学における教育と学習」という科目は、大学における学びを構造的に捉えることがで

き、主専攻の学びを深めるうえでも大変参考になりました。

GEC科目での学びは、研究を行う上での基礎にもなっています。数学を教えるという行為を、言語学(語用論)の観点から分析することもありますし、教育学に関する科目は「人に教える営み」についての知見を私にもたらししてくれました。

私は、数学教育学をさらに深く学ぶために、大学院に進学します。GEC科目から得た多彩な学びを、自分の研究に上手く組み入れ、様々なことに貪欲に取り組んでいきたいです。



教育学部  
数学科 4年(2023年当時)  
安藤 岳史

#### 履修した科目

- 統計リテラシーα
- 言語学(形態論) など

## Case.

### GECの 活用方法・履修モデル

GECの多様な学びの機会を活用することで、自分に足りない知識、社会で役立つスキル、興味ある体験などを積み重ね、なりたい自分へとステップアップを図ることができます。学ぶフィールドも学び方のスタイルも多種多様。学びたい意欲や目的に合わせて自由に組み合わせることで、自分だけの「知の体系」をつくることもできます。

就職活動でアピールできる強みを作りたい

主専攻

経済学

+

GEC(実践型)

ビジネス・クリエーション  
コース

自分のやりたいこと、できることに気づけて  
卒業後の進路が広がった。

文理の知識を活かして、  
より良い地球づくりに貢献したい



榊島さんのストーリー

商学部  
金融・保険  
トラック



GEC 副専攻  
カーボンニュートラルリーダー

“自然災害リスクへの”  
理解が深まった

INTERVIEW

商学部には無い学びを得るため、  
多様な価値観や知識を吸収しています

商学部では保険を中心に学んでいるほか、Global Management Program という、英語で幅広く商学を学ぶプログラムに参加しています。ゼミでは社会課題に対する保険の役割の研究、保険を用いた課題解決のための新しいスキームの提案を行っています。

商学部にいると、商学の専門性を得られる代わりに、学術的視野が商学だけに狭まってしまっているように感じていました。そんな中、体系的に学問を学べる副専攻制度があることを知りました。文系だけでなく、理系分野にも携わりたいと思

ったため、「カーボンニュートラルリーダー」という、温室効果ガスの最終的な排出量を地球全体で正味ゼロにする取り組みを学ぶ副専攻を選びました。激甚化する自然災害リスクに対し、私たちがいかに対処しなければならないか、痛切に感じたことは大きな学びです。私の専攻である保険学の観点でも、自然災害リスクというのは今大きく注目されており、その点で主専攻と副専攻がリンクしました。

私は民間企業に就職する予定ですが、地球の持続可能性に貢献できる商品づくりに携わりたいと考えています。また、民間企業を引退した後は非営利団体に所属し、地球を守り、さらに発展も望めるような世界づくりに向けて、貢献していきたいです。



商学部 4年(2023年当時)  
榊島 由梨花

履修した科目

- カーボンニュートラルと社会
- 環境科学基礎講座 | など

実験に役立つITスキルを高めたい

主専攻

心理学



GEC(副専攻)

ソフトウェア学

心理学実験に必要なプログラムを  
自分で書けるようになった。

いろんなことに興味がある

主専攻

国際関係



GEC(副専攻)

東洋の思想と  
宗教

政治的対立の裏にある国民思想や歴史への  
理解が高まった。

## ライティング・センター | 3号館2階 |

授業のレポートや論文など学術的な文章の作成を、アカデミック・ライティングの専門知識を持ったチューターが個別指導します。1回のセッションは45分。英語と日本語、いずれの文章にも対応し、作成途中の論文や、まだ構想の段階のレポートでも指導を受けることが可能です。ランチタイムにはオンラインのセッションも実施しています。西早稲田キャンパス分室、所沢キャンパス分室もあります。

- (指導内容)
- 授業のレポート ● 語学授業の作文課題
  - プレゼンテーション用スライド ● 卒業論文 ● 修士論文
  - 博士論文 ● 投稿論文 ● 留学志望書 ● 語学能力試験の作文課題
  - 研究計画書 大学院進学用、奨学金申請用を含む



## Math and Stat Center · 情報対面指導室 | 3号館2階 |

オンデマンド形式で提供される科目の各シリーズに関する内容や、広く数学・統計・データ科学・情報の内容についてLA (Learning Assistant) が個別にサポートします。常時LAが待機し、丁寧にわかりやすく指導してくれます。室内はとても和やかな雰囲気です、ラウンジ感覚で気軽に立ち寄れるのが魅力です。学生からも「LAのサポートが役立った」という声がたくさん届いています。ぜひ積極的にご活用ください。

## 他大学との連携

早稲田大学は協定を結んでいる他大学と互いに科目を提供しあっており、他大学から本学に提供される科目を「他大学提供科目」と言います。同志社大学とは国内交換留学を実施しており、毎年10名程度の学生を相互に受け入れています。留学中に修得した単位は所属学部で認められた場合には、卒業単位として取り扱われます。

